

令和7年度 宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額（千円）
1	こころの交流事業	特定非営利活動法人こころの森	石巻市	石巻南浜復興祈念公園は、令和3年4月1日より開園したが、かつてこの場所には2,000世帯、6,000人もの人々が住んでおり、東日本大震災により501人が犠牲となった場所でもある。そのため、多くの人が足を運び、笑顔になる場を創造することで被災者のこころの復興につなげる必要がある。本事業は、石巻南浜復興祈念公園で定期的に祭りを開催することにより、青空の下、地元出店者と地元被災者のこころの交流を図り、こころの復興を実現する。また、毎年継続することにより、復興祈念公園のこころの交流イベントして定着させることが目的である。	2,450
2	ダーツ交流会・杜の都の笑楽隊	広瀬川倶楽部	仙台市・多賀城市・名取市・岩沼市・山元町・東松島市・七ヶ浜町・気仙沼市	東日本大震災で津波被災され仮設住宅から市営住宅・集団移転先へ移られた住民の方々を中心に「ダーツ交流会・杜の都の笑楽隊」等のイベントを開催し「元氣・笑い・健康」住民同士の笑顔の交流」を図っていくことを目的としている。 「ダーツ交流会」は、市営住宅（災害公営住宅）、集団移転町内会を中心に毎月平均15カ所で開催している。10月には年に県内各地から大勢の方々が参加される「第11回ダーツ大会」を開催予定。 「杜の都の笑楽隊」は、市営住宅（災害公営住宅）、集団移転先町内会を中心に、毎月平均2カ所で開催している。	967
3	被災者と地域住民コミュニティのIT活用による絆づくり	公益財団法人仙台応用情報学研究会興財団	石巻市・東松島市・南三陸町・山元町	被災された高齢者の中には地域とのつながりが薄れ、孤立を感じている方が多く見られます。一方で、日常生活においてスマートフォンやデジタル機器の活用が欠かせない現代において、高齢者の多くが「操作が難しい」「詐欺が怖い」といった理由で利用に消極的です。本事業では、誰一人取り残さないデジタル社会の実現を目指し、スマートフォンの基本操作や安全な利用方法、コミュニケーションアプリの使い方、不審なメールや詐欺対策などをわかりやすく学べる講座を開催します。今年度も、昨年同様にコース8回の連続講座形式で実施し、山元町・南三陸町・石巻市・東松島市の復興地域の自治体、自治会等の協力を得て、6会場にて開催を予定しています。地元住民が安心して参加できるよう、茶話会的な交流会を開催し、学びと交流の場づくりを目指します。	1,400
4	被災地に笑顔を創る種をまく 地域住民の交流による仲間創りと地域活性化事業	一般社団法人WATALIS	亶理町	新たな地域課題である被災者の孤立化と遊休農地の増加による生活環境の悪化に対応するため、被災地域の景観美化を図り遊休農地再生にも貢献できる交流活動として、亶理町内の遊休農地（活用予定面積約24㍖）花の種まきや手入れを行った後、身体の疲れを癒しながら被災者同士が語り合うお茶会を実施。多様な被災者が集いともに活動する機会を提供する。 取り組みの周知と参加者掘り起しのための広報活動（チラシ、HP更新、ニュースレター発行）も併せて実施する。	1,600
5	関上前進・元気を運べ・コミュニティ再生事業	一般社団法人ふらむ名取	名取市	関上地区の課題として、移住者と地元民のコミュニティ形成と町内会に属さない公営住宅は行事などは皆無で茶話会や季節行事を取り入れて、居場所づくりや孤立防止などに努めています。住民の高齢化が進み担い手不足・自治会組織機能低下を余儀なく、地域の情報も入手できない事もあります。 「関上だより」発行で話題提供し、傾聴活動での希望を見出し住民の生きがいを創出し復興感の高い関上地区にしていきたいと取り組んでいます。	1,400
6	石巻の水産事業者と地域住民の、地元や水産業への誇りを醸成するプロジェクト	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン	石巻市	東日本大震災によって壊滅的な打撃を受けた石巻の水産業は、14年の歳月を経て復興を遂げている。しかし、水産業の特性上、被災した水産従事者は地域住民からの直接的な声を聞く機会が少なく、自分たちが直接誰かの「食」を支えているという実感は薄い。一方、魚食減少や津波の影響により、地域では海離れや水産業へのネガティブな印象も根強い。 昨年度の取組では、住民や学校、水産事業者から継続を望む声が多く寄せられた。工場見学や調理体験を通じて、水産事業者は誇りとやりがいを取り戻し、地域住民は石巻や水産業への愛着と海への親しみを育んでいる。このつながりをさらに深め、地域全体の「心の復興」を支えることが本事業の目的である。	1,600

令和7年度 宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

7	住民支え合い活動	松岩地区社会福祉協議会	気仙沼市	東日本大震災で多くの方が被災され、新しい環境や新しいコミュニティづくりのため住民たちと支え合い活動を活発に行い、住民主体の手づくり交流親睦事業を実施している。「お茶のみ会」「かぼちゃ粥会」は松岩公民館を会場に高齢者を中心に、スタッフが調理し、気仙沼では伝統である「つめり汁」や「かぼちゃ粥」を提供する。食事をとりながら、アトラクションを楽しみ、近況報告や思い出話をしながら、親睦を深める。「歌声喫茶」は世代間交流事業として、参加者全員で歌を歌い、茶菓子を食しながら、親睦を深める。交通手段のない住民のため、災害公営住宅などの自治会館へも出張開催している。	424
8	花と緑で安らぎのひと時プロジェクト	一般社団法人ひと・まち・もり	石巻市	石巻南浜津波復興祈念公園にて、ひとまちもりが自主的に行っている事業は、人と自然の共存共栄をテーマに「花と緑で安らぎのひと時プロジェクト」として、公園内を彩るプランター寄せ植え体験会、杜づくりを体験するグリーンツアーなど、年12回程度開催しております。各行事終了後に、参加者全員で飲食を共にする語らいの場を提供しています。	1,800
9	被災者支援・ふるさと東北支え合い運動	特定非営利活動法人仙台明るい社会づくり運動	名取市・石巻市・気仙沼市・南三陸町・仙台市	被災された方と生きる糧になる『生きがい』を共に創っていく仲間として継続的に支え合う・全国から東北を訪れる人を後押し、共に支え合える環境を提供する。 コミュニティ支援（地域食堂、健康体操）：24回開催 文化芸術活動支援（コンサート）：5回開催 子ども支援（おやこフェス）：2回開催（仙台、石巻） 震災風化防止（被災地訪問）1回 コミュニティ支援（夏祭り、芋煮会）：各1回開催 映画鑑賞会 2回～3回	1,029
10	被災者自身が主体的に参加する「心の絆づくり」音楽プロジェクト	東北市民バンド協議会	多賀城市	災害公営住宅自治会や町内会等と協力し、被災者が住民を誘い、参加者が打楽器、歌、手話などを演奏家や歌の指導者と一緒に参加し、体験型コンサートを災害公営住宅集会所で行います。町内会で開催する夏祭りや敬老会等の行事でも開催します。演奏会終了後は感想などを話し合い、参加者の親睦と融和を図り、住民同士の絆を深めます。更にアンケート調査を行い、次回のイベントに反映するとともに、居住者の課題や求めているものを見つけ出して自治体などへ提供します。	1,400
11	スレートアートで全国につながるスマホカフェプロジェクト	特定非営利活動法人とめタウンネット	南三陸町	東京駅を象徴するスレート屋根を復興のシンボルの物語として、被災者の皆さんとともに語り継ぎ、震災の記憶の風化を防ぐ一助としたいと考えている。隔れた復興のストーリーを持つ「スレート」を使ったスレートアート体験会およびスマホカフェを伊里前復興公営住宅集会所を会場に開催する。スマホカフェは毎月1回開催、うち2回は子どもが参加しやすいよう日程を設定し世代間交流を図る。また、自分が描いたスレートアートを撮影してSNSで発信する方法を学び、全国の人たちとの交流を図ることができる。	1,400
12	1マイルアートカフェ	1マイルアートカフェ実行委員会	石巻市	①住民会議（10名程度）企画、運営に復興住宅街の被災者が関わる企画会議（4回程度） ②蛇田地区10月、手作りワークショップ（クリスマスグズ作り）市民作家の絵画展と内海誠バイオリンライブコンサート ③かわべい市民交流センターにて3月実施予定。ワークショップ、山浦多久二絵画展と安田智彦ジャズライブ。映像と内海誠バイオリンライブコンサート。ワークショップでは、ステンシルではがき作りに参加する。	1,440

令和7年度 宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

13	心の復興サロン及び復興ニュース	特定非営利活動法人高齢者サポートチームしおたが	塩竈市	被災者の高齢化が進み、孤立・孤独化を未然防止、居場所づくりが必要である。心のケアと地域社会の活性化に寄与することを目的として、心の復興サロンの開催及び復興ニュースの発行を実施する。被災者及び近隣高齢者の主体的参加のもと、心の復興サロン年間32回開催、復興ニュース年2回発行予定	1,260
14	みんなの感謝フェスタ	気仙沼ライトハウス	気仙沼市	市全体が震災の影響を受けている気仙沼市内で、人と人を繋ぐまちづくりの取り組みで前進するには「感謝する心」が重要だと気づき、心から立ち上がる力を大切に、みんなが参加しやすい地域コミュニティづくりが目的。テーマを「感謝音頭」と輪踊りで設定。会場は、ステージ、出店、展示・体験コーナー、屋台等による飲食店等で構成。ボランティアが中心に運営。津波被災者がより一層地域に参加し易いように、個々のやる気と興味を生かし自主参加を促すと共に、地域のキーパーソン、自治会等との協働で、より広範囲から被災者、非被災者を問わず、地域のみなさんが楽しく参加できる地域コミュニティづくりの促進に取り組む。	1,050
15	被災地域（南三陸町）で多様な世代のつながりづくりを促進し、共に未来への歩みを進める教育・文化プロジェクト	南三陸YYProject	南三陸町	震災以前の町本来の魅力や復興の歩みを知らない世代が徐々に増えていく中、世代間交流や地域を知り、学ぶことはより大切になっていく。本事業では町の未来を担う中高生と地域の様々な分野で活躍する大人との対話プログラムや、多様な世代や立場の人が集い、思いを共有できる文化的なイベントを実施することで、地域住民のつながりが生まれ、深まり、共に未来へ進む生きがいを見出していくことを目指す。	780
16	OGATSU SEASIDE FES 2025	OGATSU SEASIDE FES実行委員会	石巻市	石巻市雄勝町の防潮堤に描かれた壁画の前で、アート、音楽、食、アクティビティなどを楽しむことができるイベントを開催し、住民、町を離れた被災者、そして新しく雄勝を訪れる人々が交流を図り、それぞれの心が豊かになるような1日を作ることを目的とする。雄勝町では復興事業の中で、多くの海岸で防潮堤が建設され、景観が大きく変わってしまった。失われた景色に少しでも彩りを与えようと、2021年から始まった「海岸線の美術館」プロジェクト。壁画の完成披露会として開催してきた「壁画祭り」。昨年度からは住民が主体的に企画、運営を行っていくことで被災者の生きがいや意欲を引き出している。出展者の多くが被災者であるため、売り上げの向上によるやりがいの創出、地域の活性化も期待される。毎年続けていくことで、1年に1度皆が笑顔で集える1日になっていくことを目指す。	1,214
17	心の復興支援 合唱団パリンカ第2回石巻公演	合唱団パリンカ	石巻市	第1回石巻公演を皮切りに七ヶ浜、大河原公演と3回開催。演奏会を重ねるたびに心の復興支援の重要性と継続して開催しなければならない事を実感し、参加された被災者の方からもそのような声が寄せられている。 ①第2回石巻公演は合唱連盟から全面的にご支援をいただき10月12日マルホンまきあーとテラスで開催。地元賛助出演合唱団3団体の単独演奏と合同演奏(公募メンバー含む)、合唱団パリンカの演奏を被災地の皆様にお届けする。演奏後は交流会(参加者150名程度)を開催し交流を深めたいと考えている。 ②前日10月11日は被災地の砦上の里雄勝を会場に地元合唱サークルと一緒にふれあいコンサートを開催。甚大な被災に遭われ、人口減が進む地域での開催は合唱の力を大いに発揮できると考える。	1,400
18	みらいに残す、ふるさとの食卓～大人から子どもたちへ伝えておきたい味と思い出～	一般社団法人こどもみらい研究所	石巻市・東松島市・女川町	東日本大震災で津波の被害を受けた石巻圏域（石巻市・東松島市・女川町）では、移転によるコミュニティの希薄化、少子高齢化・過疎化による核家族化が急速に進み、生活文化を直接伝承する機会が少なくなっている。本取り組みでは、暮らしとともに連綿と伝えられてきた文化の中でも「食」に焦点を当て、伝統的な郷土料理のレシピとおいしく作るコツを、年長者から子どもにワークショップ形式で伝え、その記録を残すものである。地域全体を家族とみなし、伝承の機会を創出し、世代を超えた人々とのコミュニケーションを醸成しながら、「ふるさとの食卓」を伝え残すことが本取り組みの目的である。郷土料理が得意な大人と地域の子どもたちが、一緒に料理し、試食する過程で、コミュニケーションをはかるワークショップ型のイベント（春夏秋冬4回開催）。一連の様子を記録、レシピとともに小冊子を制作、石巻市・女川町の新1年生に強度学習のツールとして配布する。	1,600

令和7年度 宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

19	心の復興の為に、海と陸を繋ぐ、地域連携の交流事業	チャイルドネットジャパン	石巻市・東松島市・女川町	震災による一番のトラウマは津波であり、最大被災地の石巻では、未だに親に言われ、海に近寄れない子どもがたくさんいます。海が怖ければ、この地の水産業の発展は望めません。陸では、傷ついた親や家族の影響もあり、不登校や、将来何の希望を持たない子がたくさんいます。津波で怖かった海と仲良くなれば、生きていくツールを手に入れられる。取組としては、子ども達の居場所づくり(七夕・ハロウィン等のイベント)、被災者と交流する一日職場体験、船を借りて海に出る「海はともだち」など地域連携の交流事業を行います。	1,400
20	NaNa5931オリジナルミュージカル公演	セツ浜国際村事業協会	セツ浜町・宮城県内市町村	町民が舞台芸術を身近に感じられる環境づくりのため2001年に設立され、小学生から社会人までの町民で構成されるセツ浜国際村の育成ミュージカルグループNaNa5931による「いのち」と「セツ浜」をテーマとしたオリジナルミュージカル公演を実施します。本事業は「世代間交流の促進」「震災の風化防止」「町の文化の発信・継承」を目的としており、演者・観客ともに「明日への希望」と「地域への愛着と誇り」を感じることできるセツ浜ならではのステージを作り上げます。	1,400
21	和太鼓によるコミュニティ形成支援プロジェクト	浦の浜親和会	気仙沼市	浦の浜親和会で保存している和太鼓を活用し、イベントを開催することで新たなコミュニティを形成することを目的として実施。和太鼓ワークショップは、“災害公営住宅等居住被災者と以前から地域に暮らす住民との交流の場”としての目的を担っており、住民の孤立という課題の解消に努める。よりたくさんの住民の方に周知し、参加してもらいたいと考えている。このプロジェクトを通して、他地域の住民や、新しく大島に越してきた方とのふれあいも促進していく。	378
22	文化芸術、農業、災害伝承を通した心の復興	遠足プロジェクト実行委員会	石巻市	被災者の心の復興を目的として、被災者が主体になり①芸術祭、②畑、③サロン、④震災資料館づくり、⑤国際シンポジウム開催を行う。被災者同士のつながりを形成し、いきがいくづくりに寄与することで、心のケアと共助の力を高めることを目指す。参加者には障害者や在留外国人も含まれ、多様性のあるコミュニティの形成によってレジリエンスを高めることをねらいとしている。	1,400
23	ジュニアジャズミーティング in みやぎ	公益財団法人宮城県文化振興財団	仙台市・石巻市	公益財団法人宮城県文化振興財団、復興支援音楽の会（神奈川県横浜市）及び公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会が連携し、震災からの復興と次世代を担う子供たちの育成と交流を図るため、被災地のジュニアジャズグループに発表の機会を提供し、演奏環境や運営について支援する。今年で9回目を迎える本事業において、子供たちの中には、震災を経験していない児童が増えてきている。そこで本事業を通して震災の記憶を語り継ぐとともに、被災地域に住む子供たちの元気な姿を県内外に発信する。また、世代間の親睦を深め地域住民との交流を促すことで、地域の活性化と心の復興に寄与する。	1,322
24	石巻地域の大人が若者と繋がりをもち、互いに生きがいを育み合う心の復興支援事業	一般財団法人まちと人と	石巻市・東松島市・女川町	取組①：被災地域の若者と大人が対話や協働を通して互いに生きがいを育み合うことを目的とし、『まきボラ』（地域で主体的に活動したい若者と事業所をマッチングし、ボランティアとして地域活動に参加する取組）を実施する。 取組②：被災地域の若者を対象に、半年間の『探究ゼミ（仮称）』を開講する。参加者は月2回程度集まって地域の大人と対話しながら、各々のプロジェクトを考えて実行する。これにより被災地域の若者が主体的・継続的に地域に関わっている状態を目指す。被災地域の大人にとっても、若者との継続的な関わりを通じて、生きがいや主体性を育む機会となる。	1,400
25	気仙沼星空観望会プロジェクト	インター宙ばレーション	気仙沼市	星空をテーマにした科学教育機会の創出と世代を超えた地域交流の促進 星空観望・講演会・ワークショップを組み合わせたイベント開催 ・東北地方にゆかりある研究者を招いたトークショー・交流会 ・小学校との連携による出前授業 ・地域住民の方々による運営協力	1,469

令和7年度 宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

26	「ひかりのことは『いのちのかたりつぎ』」事業	一般社団法人三陸まちづくりART	石巻市	東日本大震災の被災者が語る体験や記憶を地域の子どもたちが直接受け取り、演劇や身体表現を通じて社会に発信することで、震災の記憶を次世代へとつなぐとともに、被災者である地域住民が本事業に関わる中で、新たな気づきや役割意識を得る機会を創出することを目的とします。 ワークショップに参加する子どもたちが震災を「自分事」として捉える視点を育み、震災教訓を語り継ぐことへの関心を高められるようにするとともに、地域住民にとっての世代間交流の場を提供し、自らの経験が社会に生かされているという実感や、新たな役割との出会いにつながる場となることを目指します。	1,400
27	かつての暮らしを思い起こすものづくりを中心にした交流サロン等	特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク	仙台市	仙台市若林区の沿岸部では、集団移転跡地の利活用が進む一方、人口減少の進んだ現地再建地域と、高齢化が進むなか住民層の多様化が進行する集団移転地・復興公営住宅等の移転先地域の両地域共に、コミュニティの維持に苦心している。そんな中、地域の子どもたちが以前遊んできた記憶をたどりながら地域資源を活用し地域の魅力の再発見に資する子どもの遊び場活動や、かつて自分自身で暮らしをつくってきたことを思い起こすことにもつながる、集会所でのものづくりを中心とした交流サロン事業などを実施してコミュニティの維持・活性化につなげていく。 取組①「交流サロン『縁側倶楽部』」 取組②「地域団体が実施する交流行事の支援」	396
28	石巻南浜復興祈念公園周辺の民間震災伝承施設における被災者主体の伝承	公益社団法人3.11メモリアルネットワーク	石巻市	・津波被災地域住民からの震災体験や震災前の光景を伝えたいとの意向に応える民間伝承施設の継続運営と、来訪者とのつながり形成 ・東日本大震災の象徴となる石巻南浜津波復興祈念公園周辺の「南浜つなぐ館」、 「MEET門脇」での被災の物語に向き合い、未来の行動につなげる場の提供 ・100名以上から聞き取りした避難行動、ご遺族からの被災物提供、被災企業商品、3回以上の追加展示企画により多くの被災者が関わる機会	1,600
29	『人とアーカイブの交差点』～震災前の石巻を、観て・聞いて・探して・話そう！～	特定非営利活動法人石巻アーカイブ	石巻地域（石巻市出身の市外・県外在住者も含む）	震災前アーカイブ所蔵資料を展示閲覧できる常設の展示・閲覧・交流会場を設置。それその写真の特徴を考慮し、時期や展示閲覧方法を検討しながら「人と思いの交差点」テーマに、気軽に訪れることのできる展示・閲覧・交流スペースを市内中心部空き店舗で展開する。	1,400
30	ひの子ども食堂	一般社団法人ひのこ	石巻市・隣接市町村	ひの子ども食堂は、見知らぬ誰かにやさしさをプレゼントするという考えに習って、「地域の困った」をみんなでフォローしながら新しい循環を生み出し、地域を元気にしていくという「恩送りプロジェクト」の子ども食堂です。具体的には地域のボランティアの力を結集して、貧困から食事をとれない未就学児から大学生までの子どもたちやネグレストによって食事をとれない子どもたち等へ無料で食事を提供するとともに、人の輪で包み込んでいきます。5か所月～金の週1回朝食を提供。	1,758
31	「心に潤いを」 2025年度 音楽で心と身体の健康をサポートする事業	特定非営利活動法人認知症の予防と遅延のための音楽療法研究所	仙台市・富谷市・塩竈市	震災以降、コミュニティへの参加や近隣住民・ご家族とのかかわり方に課題を抱える方が増えていると感じています（例：震災を機にご子息の家に引っ越し、家族や地域に馴染めず孤独を感じている等）。高齢者の割合も多く、認知症を患っている方もいます。本事業の目的はそのような方々を含めて「幅広い地域、年齢層の参加者が交流できる持続的コミュニティを構築する事」と「認知症予防（発症と進行の遅延）に関する啓蒙と情報発信をする事」となります。音楽の持つ、1）記憶として保たれやすい2）言葉にしがたい気持ちの浄化作用をもつ3）言葉のいらない交流ができるという特長を生かした、「認知症予防音楽カフェ」と幅広い年代の参加者へ、認知症予防に関する様々な知識や情報の普及を行う「心と身体の健康をサポートするワークショップ」を各地で開催します。	1,600

令和7年度 宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

32	名画こころの交流	石巻名画座	石巻市・東松島市・女川町	古今東西の名画の上映会を主催し、市民に娯楽を提供することが最大の目的である。古くから映画を受する風土のあった石巻市内には、現在シネコンしかなく、多彩な映画に触れる機会が激減したため、多くの映画好きが名画鑑賞の機会を求めている。生活に追われる中で、娯楽に身を預け、ひと時の楽しみを味わっていただく。また、毎回、映画にちなんだ、地元にもゆかりのあるゲストを招いてのアフタートークも開催しており、学びの機会にもなる。	1,400
33	心の復興支援事業補助金	ぶどうの木ネットワーク	仙台市・石巻市・南三陸町	災害の多い日本の現状の中で、私たちはまず、東日本大震災の被災者が人とのつながりや生きがいをもち、前向きに歩めることを願い活動しています。「ぶどうの木ネットワーク」は、整体師でプライベートサロンVINE（バイン）を運営する山村栄子を代表とし、心のケアと健康支援に取り組む仲間と共に築き上げたネットワークです。心の復興支援と健康づくりを通して、地域コミュニティの再生と新たなつながりづくりを目指しています。	730
34	こころの復興ミュージカル『忘れたい忘れない』	一般財団法人SCSミュージカル研究所	仙台市	東日本大震災の記憶と教訓をミュージカルの形で発信することで被災者の心に寄り添い、鑑賞者の心に響く舞台を目指す。当時のエピソードを通して震災の記憶を風化させないことに加え、今後起こりうる自然災害に備えて防災に関する呼びかけを行い、自分の命を守る意識を持つことを目的とする。東日本大震災から15年という節目の年を迎え、震災を知らない世代にも伝承していく意識を持って取り組む。	1,400
35	防災ソング『手話音楽』安心安全ありがと防災♪プロジェクト	一般社団法人災害救援協会	気仙沼市	防災ソング「安心安全ありがと防災♪」という曲を通じて防災教育と啓蒙活動を行う。特に高齢者や障がい者及び子ども達へ伝える。障がい者、耳の聴こえない方々に情報を届け、音楽と手話をかけ合わせた「防災×手話」安心安全ありがと防災♪プロジェクトを通して、子ども達や高齢者の交流できる居場所作りを提供する。	887
36	被災地につながる子育てプロジェクト	特定非営利活動法人子どもの村東北	宮城県内	震災後14年が経過する中で、被災エリアで子育てする親は震災当時、復旧・復興に向かう中で我慢を強いられた環境の中で生活していた大人たちを見ながら育っているケースも多く、自分自身が親となっても相談をするという行為ができないケースが散見される。このような状況の中で、子どもができて、誰にも相談出来ない孤立した子育てを行うことにより幼少期の愛着形成が出来ていない親子も多く、虐待や社会的養護が必要な子どもたちを生み出すような、いわゆる震災の3次被害者が生まれている。こうしたことから、子育て現場のケアニーズを探り環境を整備することが求められており、本事業を宮城県内で展開するものである。また、令和6年度に本事業を展開したことにより、支援者そのもののすそ野を広げるとともに資質向上を図るためのフォーラムを開催する必要があることを認識し、年1回の参加者100名規模のフォーラムを開催する。	522
37	被災者心の復興支援	一般社団法人へいわしながわアクションセンター	気仙沼市	事業の目的は、被災者が体験した悲しみや辛い思い出について、その思いを作詞・作曲または新作盆踊り(ダンス)の振り付け創作等通じて表現し、家族や友人・故郷に対する思いに、一定の区切りをつけることである。 ・被災者の家族と故郷に対する思いを、歌詞と曲と踊りに載せてCDを作成する。その際、音楽の専門家の継続的な指導を実施 ・地元での新作盆踊り大会(ダンシング・フェスティバル)を実施する。また、CDの全国配布によって印象深い防災意識の向上を実現する。	1,800
合計					47,876